

授業科目	教職概論 Introduction to Teaching Profession	担当教員	所 伸一、前田 賢次
対象学科・年次・学期	栄養学科・1年次・前期	選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	2単位
授業目的	(1) 栄養教諭の仕事を知り、専門へのあこがれや自覚をもつ。 (2) 学校教師というものに期待されてきた役割とそれをめぐる対立など現在の教職制度の概要を知り、社会的な責任のある素晴らしい専門職であることを学ぶ。 (3) 職業準備としてだけではない教職課程の意義、教師の仕事の内実と成立条件と職場の構造、学び続ける教師として育つことへの期待などを教育学の新しい接近法から学ぶ。		
到達目標	教師の仕事・地位などへの歴史的・社会的期待の存在と共に、その仕事そのもののおもしろさ、難しさ、子供とともに得られる喜びなどを知り、文明的に高度化する社会において学び続ける姿勢と方法を身につけた教師を目指す自覚を育む。		
テキスト	講義時に資料を配布する。		
参考書	1. 岩田・高野編「教職論」(学文社) 2. 姉崎・大野・近藤編「教職への道しるべ」(八千代出版) 3. 「小学校学習指導要領」(文部科学省) 4. 「中学校学習指導要領」(文部科学省) 5. 「学び続ける教師の養成」(大阪大学出版会) 他		
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準
	試験	50%	提出物：毎回講義終了に提出される振り返りシート その他：講義中に設ける討論の参加度
	レポート		
	小テスト		
	提出物	20%	
その他	30%		
履修上の留意事項	授業中または復習により生じた疑問はその都度担当教員に質問をすること		
実務経験を活かした教育内容			
学習の主題・授業内容	回数(担当)	項目	内容
	1(所)	学習の主題	始めに
		授業内容	栄養教諭とは何か、および本講概要
		事前・事後学習	事後学習：講義ノートのまとめ
	2(所)	学習の主題	教師とは何か
		授業内容	歴史の経験と世界の動向から
		事前・事後学習	事後学習：講義資料の復習と推薦図書の読書
	3(前田)	学習の主題	教師の具体的な仕事について
		授業内容	教師の一日のタイムスケジュールや校務分掌等の業務全般について把握する
		事前・事後学習	事後学習：講義ノートのまとめ
	4(前田)	学習の主題	現代の求められる教師像と現実の間で
		授業内容	教師の資質として求められていることと現実としての教師の困難について
		事前・事後学習	事後学習：講義ノートのまとめ
	5(前田)	学習の主題	教員の資質形成デザインに見る教員の養成・採用・研修をめぐって
		授業内容	教員の資質形成施策の概要について把握する
		事前・事後学習	事後学習：講義ノートのまとめ
	6(前田)	学習の主題	教育のライフコースとライフステージについて
		授業内容	教師になっていくとはどういうことか、二つの視点から考える
事前・事後学習		事後学習：講義ノートのまとめ	

回数 (担当)	項目	内容
7 (前田)	学習の主題	学校における栄養教諭の位置と可能性
	授業内容	カリキュラムマネジメントの視点から
	事前・事後学習	事後学習：講義ノートのまとめ
8 (前田)	学習の主題	栄養教諭の教育実践事例
	授業内容	食育に関わって知識獲得と態度形成を実現する教育実践について学ぶ
	事前・事後学習	課題ワークシートの作成
9 (前田)	学習の主題	保護者との連携の必要性和具体的事例
	授業内容	学校・教師と保護者との関係づくりの事例について学ぶ
	事前・事後学習	課題ワークシートの作成
10 (前田)	学習の主題	教師の同僚性と協働の具体的事例
	授業内容	チーム学校と同僚性の二つの視点から教師の協働について考える
	事前・事後学習	小レポート
11 (前田)	学習の主題	地域や学校外の人材や諸機関との協働の具体的事例
	授業内容	開かれた教育課程開発の具体的事例について学ぶ
	事前・事後学習	小レポート
12 (前田)	学習の主題	学校での安全と安心を保障するための取り組み事例
	授業内容	復興教育や食育の事例から学ぶ
	事前・事後学習	小レポート
13 (所)	学習の主題	教職の制度、教師の責任 1
	授業内容	種類と制度、地位の保障と「公僕」性
	事前・事後学習	事後学習：資料の理解と感想・意見のまとめ
14 (所)	学習の主題	教職の制度、教師の責任 2
	授業内容	創造性（自由）と責任、教化は避けられるか
	事前・事後学習	事後学習：資料の理解と感想・意見のまとめ
15 (所)	学習の主題	まとめ
	授業内容	専門・技能の獲得と人間力形成への期待
	事前・事後学習	大学生活への新たな観点についてまとめること

学習の主題・
授業内容

授業科目	教育原理 Principles of Education	担当教員	所 伸一
対象学科・年次・学期	栄養学科・1年次・後期	選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位
授業目的	近代教育思想の精髓を欧米・日本ともに紹介し、明治以降の教育課題と方法の模索を概観する。現代に至るまでの人間像と教育内容・学力観の変遷を示し、戦前・戦後の「新教育」の試みも取り上げる。学力低下問題、学校と地域・家庭との関わり、食育・環境教育等の必要を社会の動きと共に取り上げ、その理想の模索を伝える。これらを通して教育に可能なことを考えていく。折にふれて、意見交流の場を設ける。		
到達目標	教育に関する歴史や思想を概観し、教育学的な視点から人間の特質や人間らしさの本質を把握し、人間の発達を社会の発展との関連で捉え、教育の本質と目的を学修する。これからの教育の在り方を考えるために、歴史の中での教育、学校教育の意義、高学歴社会の現実と課題、社会生活の豊かさと教育の課題、国際化の時代と教育、現代社会と教師など、現代の教育活動が直面する諸問題を理解する。		
テキスト	講義時に資料を配布する。		
参考書	1. 古沢・米田編「教育史」(学文社) 2. 木村元「学校の戦後史」(岩波新書) 3. 門脇厚同「子供の社会力」(岩波新書) 4. 門脇厚同「社会力を育てる」(岩波新書) 5. 「小学校学習指導要領」(文部科学省) 6. 「中学校学習指導要領」(文部科学省)		
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準
	試験	50%	提出物：毎回講義終了に提出される振り返りシート その他：講義中に設ける討論の参加度
	レポート		
	小テスト		
	提出物	20%	
その他	30%		
履修上の留意事項	授業中または復習により生じた疑問はその都度担当教員に質問をすること		
実務経験を活かした教育内容			
学習の主題・授業内容	回数(担当)	項目	内容
	1	学習の主題	教育の理念
		授業内容	現代に生きる教育思想：コメニウス、ペスタロッチ、デューイ他
		事前・事後学習	事後学習：講義のまとめ。教材の古典を自分で手に取ってみる
	2	学習の主題	教育の歴史 1
		授業内容	日本の公教育の開始から戦前まで：国作り・学校作りと人格の独立の葛藤（「学制」と福沢諭吉、夏目漱石、内村鑑三、他）
		事前・事後学習	事後学習：講義のまとめ。教材の古典を自分で手に取ってみる
	3	学習の主題	教育の歴史 2
		授業内容	日本の「新教育」と戦後の教育課程：新しい人格像と地域学校作りの模索
		事前・事後学習	事後学習：講義教材の内容と現状を付き合わせ自分の言葉にしてみる
	4	学習の主題	日本の課題
		授業内容	学力 1- 学習指導要領と変遷
		事前・事後学習	事後学習：講義のまとめ
	5	学習の主題	グループ討議
		授業内容	戦後日本が目指した教育とは何であったか
		事前・事後学習	事後学習：自分の感想と意見をまとめる
	6	学習の主題	日本の課題
		授業内容	学力 2- 学力低下問題、地域・家庭と学習意欲。各地の取り組み事例
事前・事後学習		事後学習：自分の感想と意見をまとめる	

	回数 (担当)	項目	内容
学習の主題・ 授業内容	7	学習の主題	日本の課題
		授業内容	総合的な教育主題ーキャリア教育・食育・環境教育・グローバル教育、他
		事前・事後学習	事後学習：新しい課題と自分の学習・研究の方針をまとめる
	8	学習の主題	まとめとグループ討議
		授業内容	教育の本質と教育の仕事を考える
		事前・事後学習	事後学習：討論を通して自身の見方を深め、まとめること

授業科目	教育制度論 System of Education		担当教員	高嶋 真之
対象学科・年次・学期	栄養学科・1年次・後期		選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位	
授業目的	学校教育は国家的な事業であり、教育法・制度・政策のもとで実施されている。この講義では、まず現代日本の学校教育制度、教育行財政の仕組みのうち、基本的な要素を取り上げて概観し、それらの制度等の意義を確認するとともに、あわせて課題についても検討する。また、学校教育に関わる課題に対して、現在行われている学校づくり、教育実践の取り組み事例を紹介し、学校改善や教育活動を進める際にもつべき視点や方法を考察する。			
到達目標	教育に関する法制、教育政策の形成過程、文部科学省・地方教育委員会など、教育行政の基本的な組織、および最近の教育政策（制度改革）について学び、これらの政策・制度の意義および現在生じている課題について理解する。また、今日の教育政策と教育改革、地域や学校レベルでの取り組みを知り、学校と教育をよりよくするために求められること、また学校と教職員がなすべきこと、なしうることを具体的に構想する。			
テキスト	1. 横井敏郎「教育行政学：子ども・若者の未来を拓く（第3版）」（八千代出版）			
参考書	1. 小玉・鈴木・降旗編著「持続可能な未来のための教育制度論」（学文社） 2. 川口洋誉、中山弘之編著「未来を創る教育制度論」（北樹出版）			
評価方法・基準	評価方法	評価割合（%）	評価基準	
	試験		小テストは基本事項の理解度を測ります。提出物は、小レポートです。講義内容に関しどんな考察をしたかを論じてもらいます。レポートの評価基準は、①自分の言葉で考察しているか②論理的に主張を展開できているか、です。	
	レポート			
	小テスト	50%		
	提出物	50%		
その他				
履修上の留意事項	講義内容について理解の定着を図るために、前回の講義内容について感想レポートの提出を求めるか、理解度を測るための小テストを行います。特に講義後の復習を重視して、次の講義にのぞんでください。			
実務経験を活かした教育内容				
学習の主題・授業内容	回数（担当）	項目	内容	
	1	学習の主題	日本国憲法に定める教育を受ける権利と学校設置者	
		授業内容	教育権、学校設置者、義務教育制度などの基本事項について学びます。	
		事前・事後学習	授業後も講義資料をよく読み復習すること。	
	2	学習の主題	教育基本法 - 制定の理念と平成 18 年改正	
		授業内容	教育基本法の理念と、その内容をめぐる議論について学びます。	
		事前・事後学習	授業後も講義資料をよく読み復習すること。	
	3	学習の主題	教育機会の保障をめぐる現状と課題（不登校、夜間中学を例に）	
		授業内容	夜間中学の事例から教育を受ける権利とは何かを考えます。	
		事前・事後学習	授業後も講義資料をよく読み復習すること。	
	4	学習の主題	教育委員会制度 - 設置理念と変遷、その必要性	
		授業内容	教育委員会制度の狙いや抱える課題について学びます。	
		事前・事後学習	授業後も講義資料をよく読み復習すること。	
	5	学習の主題	学習指導要領と教科書制度（検定と採択）	
		授業内容	学習指導要領に伴う教科書の検定の事例から運営のあり方について考えます。	
		事前・事後学習	授業後も講義資料をよく読み復習すること。	
	6	学習の主題	教育財政（学校事務、業務の民間委託：学校給食の例）	
		授業内容	教育と学校に関わるお金の問題を学校事務職員の仕事に着目して考えます。	
事前・事後学習		授業後も講義資料をよく読み復習すること。		

	回数 (担当)	項目	内容
学習の主題・ 授業内容	7	学習の主題	学校経営（教師の役割、学校安全と事故：いじめ・体罰ほかを事例に）
		授業内容	アレルギー事故など子どもの生命に関わる事故をいかに防ぐかを考えます。
		事前・事後学習	授業後も講義資料をよく読み復習すること。
	8	学習の主題	教育制度の未来：「チームとしての学校」コミュニティ・スクール
		授業内容	これからの学校の在り方を転換させる二つの動向について考えます。
		事前・事後学習	授業後も講義資料をよく読み復習すること。

授業科目	教育課程論 Curriculum Development	担当教員	若菜 博
対象学科・年次・学期	栄養学科・2年次・前期	選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位
授業目的	1. 講義を中心とし、必要に応じて討論、調べ学習、小レポート等の時間を設ける。 2. 教育の本質や目的を考えながら、児童・生徒の学習に必要な内容を体系的に組織する教育課程編成のあり方について学ぶ。		
到達目標	今日の教育のあり方をめぐる課題に即しながら、教育課程編成をめぐる状況や法制について学ぶ。また、教育課程改革と編成に関わる歴史の変遷に触れる。以上の学習を通して教育課程編成の意義を理解するとともに、教育課程編成の実際を知ることが到達目標となる。		
テキスト	なし		
参考書	1. 柴田義松著「教育課程論第二版」(学文社) 2. 「小学校学習指導要領」(文部科学省) 3. 「中学校学習指導要領」(文部科学省)		
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	到達目標の理解度が評価の基準となる。
	試験	70%	
	レポート		
	小テスト		
	提出物	30%	
その他			
履修上の留意事項	不明な点は積極的に質問し、理解度を深めること。		
実務経験を活かした教育内容			
学習の主題・授業内容	回数(担当)	項目	内容
	1	学習の主題	教育課程とは何か
		授業内容	学習指導要領と教育課程、教育課程とカリキュラム
		事前・事後学習	教育課程とは何かについて、ノート等にまとめる。
	2	学習の主題	教育課程における学習指導要領の位置づけと歴史の変遷
		授業内容	教育課程の基準性
		事前・事後学習	配布資料等を読み、ノート等にまとめる。
	3	学習の主題	教育課程編成 / カリキュラム構成という視点
		授業内容	学習指導要領の教育課程基準性と大枠の枠組みに基づいて：学年配置
		事前・事後学習	配布資料等を読み、ノート等にまとめる。
	4	学習の主題	教え・学びを創るという視点から見たカリキュラム / 教える側から見た、学ぶ側から見たカリキュラム
		授業内容	地域・学校でのカリキュラムを検討する。
		事前・事後学習	配布資料等を読み、ノート等にまとめる。
	5	学習の主題	教育課程編成の方法と実践(1)
		授業内容	教科の枠という視点から見た教育課程編成
		事前・事後学習	配布資料等を読み、ノート等にまとめる。
	6	学習の主題	教育課程編成の方法と実践(2)
		授業内容	教科の枠にこだわらない教育課程編成
事前・事後学習		配布資料等を読み、ノート等にまとめる。	

	回数 (担当)	項目	内容
学習の主題・ 授業内容	7	学習の主題	何を育成するのかの視点に基づくカリキュラムを目指して
		授業内容	自然存在、共同体、歴史的・社会的存在としての人間の視点からカリキュラムを検討する。
		事前・事後学習	配布資料等を読み、ノート等にまとめる。
	8	学習の主題	教育課程に基づいての、教え学びを発展させるカリキュラムを創るという視点
		授業内容	「食の自己管理能力」「望ましい食習慣」など、子どもたちが学び発展させるカリキュラムの検討をする。
		事前・事後学習	配布資料等を読みノート等にまとめ、試験に備える。

授業科目	教育方法論 Teaching Methods		担当教員	倉賀野 志郎
対象学科・年次・学期	栄養学科・2年次・前期		選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位	
授業目的	1. 講義を中心とし、必要に応じて討論、小レポート等（出席をかねて）の時間を設ける。 2. 教育の本質や目的を考えながら、児童・生徒の学びや、教育内容・教材・授業から教育方法を学ぶ			
到達目標	教育方法の基礎となる理論や、授業実践事例を学ぶとともに、教えて必要とされる授業実践の基礎を身につける。授業における学習者の学びの世界の広がりを学び、その学びの自己対峙を援助する教育内容や教材、それらの授業としての構成や教育方法を学ぶ。			
テキスト	なし			
参考書	1.「小学校学習指導要領」(文部科学省) 2.「中学校学習指導要領」(文部科学省)			
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準	
	試験	80%	その他：受講中の様子や小レポート等 20%を加味して評価する。 いずれも、到達目標の理解度が評価の基準となる。	
	レポート			
	小テスト			
	提出物			
その他	20%			
履修上の留意事項	各講義の最後に時間をとり、講義内容に対応させた形で簡単な事後学習としての小レポート等を記載します。内容に応じては、次回以降の講義の参考にする場合があります。			
実務経験を活かした教育内容				
学習の主題・授業内容	回数 (担当)	項目	内容	
	1	学習の主題	働きかけ・働きかけられる“教え”と“学び”の全体枠	
		授業内容	今日の教育課題と学習指導要領	
		事前・事後学習	“教育”は、“教える”だが、学ぶ側の局面の考察も実例をあげて考える。	
	2	学習の主題	子どものとらえる学びの世界を広げる教育方法	
		授業内容	とりわけマチガイ・誤謬に着目して	
		事前・事後学習	学ぶ側からのとらえ方としてマチガイ等の実例を考える。	
	3	学習の主題	知ったつもりでいる教育内容への問い直しによる教育方法	
		授業内容	教える視点からの学問的探究と実践との関わりと教育内容	
		事前・事後学習	そのマチガイの実例に対して、どのように説明していくのかを考える。	
	4	学習の主題	教えと学びとの視点変換と授業方法	
		授業内容	学ぶ立場から教える立場へ	
		事前・事後学習	教える側として、知ったつもりを問い直すことを具体例をあげて考える。	
	5	学習の主題	学びの自己対峙を支援する授業方法と教材研究	
		授業内容	とりわけ「問い」に着目して	
		事前・事後学習	内容を一つ選定して、学びを深めるための「問い」の実例を考える。	
	6	学習の主題	教育方法と教具の活用	
		授業内容	教具を授業計画の中で活用するかを具体例に即して	
		事前・事後学習	一つの教具に着目して授業等の、どの場面で導入するのかを考える。	
	7	学習の主題	とりわけ情報機器の操作の利用	
		授業内容	調べる、表現する：授業計画での情報機器、電子黒板の利用等	
		事前・事後学習	情報に関して“Fact”と“Fake”との二面があることを実例を挙げて考える。	
	8	学習の主題	“教え・学びを創る”教育内容と教材	
		授業内容	授業への組み方から教育方法を考える	
事前・事後学習		方法を、自己との対峙支援と、他の考え方との繋ぐ二つの面に着目して整理。		

授業科目	道徳教育論 Moral Education		担当教員	塚本 智宏
対象学科・年次・学期	栄養学科・2年次・前期		選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位	
授業目的	道徳教育とは、人間が本来、人間としてよりよく生きたいという願いやよりよい生き方を求め実践する人間の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動であり、学校教育の中核となるものである。本講義では、道徳・道徳教育の歴史や理論の研究をふまえ、学校現場における道徳教育の実際について学習することを通じ、「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度」を育てる具体的な在り方について学ぶものとする。			
到達目標	1. 近代以降の欧米と日本の道徳・道徳教育に関する歴史と理論について理解する。 2. 現代日本の道徳教育の制度・しくみの現状と改革の課題について理解する。 3. 現代日本の学校における道徳教育の実践あるいは授業実践について考察し、道徳教育の教材・教科書の活用とともに新たな指導法の開発・修得を行う。			
テキスト	「小学校学習指導要領特別の教科道徳編」(廣済堂あかつき) 「中学校学習指導要領特別の教科道徳編」(教育出版)			
参考書	毎回の授業で適宜関係資料等を配布する。			
評価方法・基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準	
	試験	80%	レポート、試験、発表、授業態度(学習意欲)等をベースに総合的に評価する。	
	レポート	20%		
	小テスト			
	提出物			
その他				
履修上の留意事項	配布された資料や論文を熟読すること			
実務経験を活かした教育内容				
学習の主題・授業内容	回数(担当)	項目	内容	
	1	学習の主題	道徳とは何か 道徳教育の現状	
		授業内容	現代日本の道徳・道徳教育の現状と課題	
		事前・事後学習	授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと	
	2	学習の主題	道徳・道徳教育の歴史と理論	
		授業内容	近代以降の欧米と日本における道徳・道徳教育の歴史と理論について学ぶ	
		事前・事後学習	授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと	
	3	学習の主題	道徳教育の指導計画、学校教育に占める位置	
		授業内容	学校における道徳教育の位置並びに道徳教育の指導計画の実際について学ぶ	
		事前・事後学習	授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと	
	4	学習の主題	道徳教育の指導計画、生徒指導と道徳教育の課題	
		授業内容	道徳教育と学級・学年・全学年の生徒指導の課題との密接な関わりを学ぶ	
		事前・事後学習	授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと	
	5	学習の主題	学習指導案の研究と作成1(小学校における実践例と研究)	
		授業内容	児童の発達段階・児童の現状に適した教材の選択・考える道徳授業をつくる	
		事前・事後学習	授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと	
	6	学習の主題	学習指導案の研究と作成2(中学校における実践例と研究)	
		授業内容	生徒の発達段階・生徒の現状に適した教材の選択・考える道徳授業をつくる	
事前・事後学習		授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと		

	回数 (担当)	項目	内容
学習の主題・ 授業内容	7	学習の主題	学習指導案の研究と作成3（道徳教育の課題と指導法）
		授業内容	道徳教育の課題にあわせて様々な道徳教育指導法があることを学ぶ
		事前・事後学習	授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと
	8	学習の主題	まとめと道徳教育の展望
		授業内容	改革をめざす現代の道徳教育の内容・方法の課題と展望を明らかにする
		事前・事後学習	授業の前後に配布資料の予習復習などを行うこと

授業科目	特別活動・総合的学習指導論 Extra curricular activities and Integrated learning	担当教員	桑原 清
対象学科・年次・学期	栄養学科・2年次・後期	選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位
授業目的	この授業では、学校という場で日常生起している事象や取り組まれている実践を素材として、学級活動、学校行事等の指導のあり方の探究とともに、主体的・対話的で深い学習にとって大きな役割を果たす「総合的な学習」を学んでいく。この授業は、討議や実践分析を前提としているので、積極的な授業参加が必要とされる。		
到達目標	子どもが学校、学級および家庭、地域で生き生きと活動している状況、そうした子どもを総体として理解し、あわせて学級活動、学校行事等の指導について理解し、身につけ、学校や家庭・地域で起こっている事象について、教科および総合的な学習の観点から実践的に分析することができるようにする。それらを教育実習や学校支援ボランティア等に生かせるようにする。		
テキスト	1.「小学校学習指導要領」(文部科学省) 2.「中学校学習指導要領」(文部科学省)その他、毎回、資料を配布する。 なお、「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」は、文部科学省のホームページから閲覧、ダウンロードすることができるので、必要に応じそちらを活用されたい。		
参考書	授業中に適宜紹介する。		
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準
	試験	50%	レポート：授業でのミニレポート（考察に関するもの） その他：授業参加状況（毎回授業終了後提出の考察シート）
	レポート	30%	
	小テスト		
	提出物		
その他	20%		
履修上の留意事項	授業の進め方として、授業終了後、次回の授業に関する準備を行うことになる。そのための予習課題や簡単なプレゼンテーションが必要になる。資料と課題指示は授業中に配布・伝達するので、必ずプリント等を受領すること。なお、やむを得ず欠席する場合は、欠席者本人にのみプリント配布、授業の説明を行うので、このことも十分に承知しておくこと。なお、授業展開次第でテーマ・内容が変更になる場合があることを了解させたい。 なお、レポート、授業における提起された事柄に対する意見・感想について Line 等を用いてフィードバックいくことになることを承知されたい。		
実務経験を活かした教育内容			
学習の主題・授業内容	回数 (担当)	項目	内容
	1	学習の主題	ガイダンス
		授業内容	特別活動、総合的な学習とはどういうものか
		事前・事後学習	勉強・授業というものについて考えてくること。次の授業課題の準備。
	2	学習の主題	学級会・班活動の果たす役割
		授業内容	子どもの居場所と子どもが伸びる活動
		事前・事後学習	次の授業課題を準備しておくこと。
	3	学習の主題	児童会活動・生徒会活動・クラブ活動
		授業内容	子どもの自主性・自立（律）性の発達
		事前・事後学習	次の授業課題を準備しておくこと。
	4	学習の主題	キャリア教育の考察
		授業内容	自分にとって仕事とは、生きていくということはどういうことか考える
		事前・事後学習	次の授業課題を準備しておくこと。
	5	学習の主題	学習論に関する言説
		授業内容	日本の学習論・学力論の歴史
事前・事後学習		次の授業課題を準備しておくこと。	

	回数 (担当)	項目	内容
学習の主題・ 授業内容	6	学習の主題	アクティブ・ラーニングについて
		授業内容	世界から見た授業改革の動向と総合的学習の位置について
		事前・事後学習	次の授業課題を準備しておくこと。
	7	学習の主題	「総合的な学習」授業計画の作成
		授業内容	身のまわり、世界および日本で取り組んでいることを素材として〔チョコレートから世界を考える、その他〕
		事前・事後学習	次の授業課題を準備しておくこと。
	8	学習の主題	教科・総合的学習と関連させた特別活動のあり方
		授業内容	教科横断的・総合的な学習と子どもの成長
		事前・事後学習	試験準備・課題を完成させること。

授業科目	生徒指導論 Student Life Guidance		担当教員	桑原 清
対象学科・年次・学期	栄養学科・2年次・後期		選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位	
授業目的	この授業では、学校における日常生活や取り組み実践を素材としつつ、1) 子どもが学校や学級で生き生き活動している状況の理解に導き、2) 教師の学級作りの理念や方法を身につけ学校や地域の課題を実践的に分析できるよう、討議に参加していただき、3) 教育実習や地域ボランティア活動等で学んだことを生かす生徒指導へと展開する。			
到達目標	授業の到達目標及びテーマ：子どもが学校や学級で生き生きと活動している状況、そうした子どもを総体として理解し、あわせて学級づくりの理念や方法を理解し、身につけ、学校や家庭・地域で起こっている事象について実践的に分析することができるようにする。それを踏まえて教育実習や学校支援ボランティア等で学んだことを生かせるようにする			
テキスト	「生徒指導提要」（文部科学省）その他、毎回、資料を配布する。 なお、「生徒指導提要」は、文部科学省のホームページで閲覧、ダウンロードすることができるので、必要に応じてそちらを活用されたい。			
参考書	授業中に適宜紹介する。			
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準	
	試験	50%	レポート：授業でのミニレポート（考察に関するもの） その他：授業参加状況（毎回授業終了後提出の考察シート）	
	レポート	30%		
	小テスト			
	提出物			
その他	20%			
履修上の留意事項	授業の進め方として、授業終了後、次回の授業に関する準備を行うことになる。そのための予習課題や簡単なプレゼンテーションが必要になる。資料と課題指示は授業中に配布・伝達するので、必ずプリント等を受領すること。なお、やむを得ず欠席する場合は、欠席者本人にのみプリント配布、授業の説明を行うので、このことも十分に承知しておくこと。なお、授業展開次第でテーマ・内容が変更になる場合があることを了解させたい。 なお、レポート、授業における提起された事柄に対する意見・感想について Line 等を用いてフィードバックいくことになることを承知されたい。			
実務経験を活かした教育内容				
学習の主題・授業内容	回数 (担当)	項目	内容	
	1	学習の主題	生徒指導とは何か（原理と位置づけ）	
		授業内容	生徒指導の定義（教科・道徳、特別活動等との関連） 教師の指導的役割（教える－教えられるの関係含む）	
		事前・事後学習	自分にとって学校とはどのようなものであったかを Power Point1 ページにまとめておく。また、次の授業主題にかかわるプレゼンテーションの準備しておくこと。	
	2	学習の主題	生徒指導の方法と体制	
		授業内容	集団指導と個別指導。学級作りの観点と方法。校内の各体制の分担。	
		事前・事後学習	次の授業主題にかかわるプレゼンテーションの準備しておくこと。	
	3	学習の主題	体罰、ゼロトレランス（不寛容）と生徒指導	
		授業内容	校則、懲戒とゼロトレランスの「効果」。子供の人権と生徒指導。	
		事前・事後学習	次の授業主題にかかわるプレゼンテーションの準備しておくこと。	
	4	学習の主題	子ども・青年の「居場所」と生徒指導	
		授業内容	生徒に寄り添った理解。生活習慣＝学びの基礎の確立。「自立」励ます観点。	
		事前・事後学習	次の授業主題にかかわるプレゼンテーションの準備しておくこと。	
	5	学習の主題	情報通信技術（ICT）と生徒指導	
		授業内容	ICT に関わるトラブルと基礎知識。ルールの指導法。生徒指導における ICT の活用	
事前・事後学習		次の授業主題にかかわるプレゼンテーションの準備しておくこと。		

学習の主題・ 授業内容	回数 (担当)	項目	内容
	6	学習の主題	いじめ問題と生徒指導
		授業内容	暴力やいじめの構造と解決法の模索。学校内の協力と専門機関との連携
		事前・事後学習	次の授業主題にかかわるプレゼンテーションの準備しておくこと。
	7	学習の主題	課題をかかえる児童・生徒と生徒指導
		授業内容	発達障害の基本的理解と対応。問題行動の理解と対応
		事前・事後学習	次の授業主題にかかわるプレゼンテーションの準備しておくこと。
	8	学習の主題	教職員の体制と生徒指導
		授業内容	学級通信の役割。教員の連携。地域との協力。「自立」の見守り
		事前・事後学習	試験準備・課題を完成させること

授業科目	特別支援教育概論 Introduction to special education	担当教員	小島 康次、今野 邦彦
対象学科・年次・学期	栄養学科・3年次・後期	選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	1単位
授業目的	<p>発達過程、すなわち幼児期から思春期（青年期前期）にかけて生じる様々な障害について、発達と教育の視点から、その態様と対処の仕方を学んでいく。健常な児童・生徒にも個人差があるように、特別な支援を要する子ども達はより幅広い個人差がみられるのである。そうした児童・生徒の多様性を前提としたインクルーシブ教育が現在求められている。</p> <p>心理的障害に対しては、カウンセリングマインドに基づく受容的働きかけを、また、発達障害に対しては主に行動療法的な働きかけの重要性を学び、特別な支援を要する幼児・児童ならびに生徒が違和感なく普通学級にとけ込める支援のあり方について学ぶ。</p> <p>他にも、様々な障害のある子どもや、障害はないが特別な教育的ニーズのある子どもの特性や支援の方法を学ぶ。その際、特別支援教育のシステム、特別支援学校・特別支援学級・通級による指導などの教育の場、様々な教育課程、個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義を理解する。</p> <p>また、特別支援教育の最大の特徴である自立行動について、基礎的な知識を学ぶ。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害をもつ子どもに対する教育現場における支援のあり方について理解する。 2. 臨床心理学・障害児心理学の基礎的な理論・技法を学ぶ。 3. 視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱等を含む様々な障害のある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を学習する。 4. 特別支援を要する子ども達の特徴を個性ととらえるインクルーシブ教育について学ぶ。 		
テキスト	使用しない。(適宜、プリントを配布する。)		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「子どもの心と学校臨床」13号、特集：学校コミュニティと学校トラウマへの支援 2. その他 		
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準
	試験		到達目標に関するレポートにより評価する。
	レポート	100%	
	小テスト		
	提出物		
その他			
履修上の留意事項	事後学習として、前の講義との繋がりを確認しておくこと。		
実務経験を活かした教育内容			
学習の主題・授業内容	回数 (担当)	項目	内容
	1 (小島)	学習の主題	教育の場における問題行動とは何か
		授業内容	インクルーシブ教育へのイントロダクション
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること
	2 (小島)	学習の主題	臨床心理の考え方
		授業内容	認知行動療法、来談者中心療法、精神分析
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること
	3 (小島)	学習の主題	発達段階による心理社会的危機
		授業内容	それに対処する学級体制の構築
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること
	4 (小島)	学習の主題	幼児・児童の問題
		授業内容	学習障害 (LD)・発達障害 (ADHD)・自閉症スペクトラム
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること

	回数 (担当)	項目	内容
学習の主題・ 授業内容	5 (今野)	学習の主題	知的障害・心身障害の理解
		授業内容	知的障害、肢体不自由、病弱、重症の心身障害のある子どもの特性と支援の方法の理解
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること
	6 (今野)	学習の主題	視覚・聴覚障害の理解と支援
		授業内容	視覚障害、聴覚障害、その他の特別な教育的ニーズのある子どもの特性と支援の方法の理解
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること
	7 (今野)	学習の主題	特別支援教育制度と実際の理解
		授業内容	特別支援教育の制度と教育過程、教育計画の理解
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること
	8 (今野)	学習の主題	自立活動の意義、実際と指導者の問題
		授業内容	自立活動の意義、目標、内容、方法、指導者に関する問題の理解
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理すること

授業科目	教育心理学 Educational Psychology	担当教員	小島 康次
対象学科・年次・学期	栄養学科・3年次・前期	選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	2単位
授業目的	発達の諸要因や原理、学習との関係、学習や発達の個人差について理解する。乳幼児期・学童期・青年期に焦点を当て、各時期における認知能力・社会的能力をどのようなものか学修する。さらに、教授学習の方法、課程、動機付けなどを学修する。また、障害のある子どもの心身の発達と学習過程についても学修する。		
到達目標	現代日本の教育の現状はどのようなものなのか、また理想の教育はどのようなものかという問題を考えるため、新たな視点として「教育に対する心理学的な考え方」を学生が培うことを授業の到達目標とする。具体的には、学童・青年の学習や発達についての基礎的事項と理論を理解し、教育現場で生じる様々な問題について「心理学的な考え方」ができることを目指す。		
テキスト	使用しない		
参考書	1. 桜井茂男編「たのしく学べる教育心理学」(図書文化) 2. 鎌原雅彦・竹綱誠一郎「やさしい教育心理学」(有斐閣アルマ) 3. 下山晴彦編「教育心理学Ⅱ－発達と臨床援助の心理学－」(東京大学出版会)		
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準
	試験		到達目標に関する小テスト (3回) により評価する。
	レポート		
	小テスト	100%	
	提出物		
その他			
履修上の留意事項	事後学習として、ノートを整理し前の講義との繋がりを確認しておくこと。		
実務経験を活かした教育内容			
学習の主題・授業内容	回数 (担当)	項目	内容
	1	学習の主題	教育心理学とは
		授業内容	教育心理学はいかなる学問か、その歴史
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	2	学習の主題	発達と教育
		授業内容	発達の一般的特徴、発達に関与する要因、発達段階と発達課題
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	3	学習の主題	認知と言語の発達
		授業内容	認知と言語の発達とそれに関与する要因
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	4	学習の主題	学習のメカニズム
		授業内容	学習の基礎としての条件付けと学習理論
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	5	学習の主題	記憶のメカニズム
		授業内容	記憶の仕組みと記憶の個人差 (小テスト 1)
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	6	学習の主題	人格の発達と適応
		授業内容	人格の発達のあり方とそれに関与する要因、人格評価とは
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	7	学習の主題	向社会的行動と道徳性の発達
		授業内容	向社会性と道徳性の発達とそれに関与する要因
事前・事後学習		事後、配布プリントを読み、ノートを整理する	

学習の主題・ 授業内容	回数 (担当)	項目	内容
	8	学習の主題	動機付けと学習意欲
		授業内容	内発的動機づけと自己効力感による動機づけと無気力
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	9	学習の主題	授業における教授・学習過程
		授業内容	学習指導の理論、効果的な授業とは
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	10	学習の主題	個人差と学習指導法
		授業内容	学習者特性と適正処遇交互作用(ATI)、個に応じた教育とは〔小テスト2〕
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	11	学習の主題	教師と学級集団
		授業内容	教師と子ども関係、学級集団の特徴と機能
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	12	学習の主題	教育評価とは
		授業内容	教育評価とは、その意義と方法、テスト理論とは
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	13	学習の主題	様々な教育評価の特徴
		授業内容	教育評価の一般的手順と各種方法の長所と短所
		事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する
	14	学習の主題	学校における障害と支援
授業内容		学童期・青年期における知的障害・学習障害(LD)の学習の過程の理解と支援	
事前・事後学習		事後、配布プリントを読み、ノートを整理する	
15	学習の主題	様々な障害と支援	
	授業内容	自閉症スペクトラム(自閉症、LD、ADHD)理解と支援〔小テスト2〕	
	事前・事後学習	事後、配布プリントを読み、ノートを整理する	

授業科目	教育相談論 Educational Counseling		担当教員	川俣 智路
対象学科・年次・学期	栄養学科・3年次・後期		選択・必修	選択
授業形態	講義	単位数	2単位	
授業目的	いじめ、不登校、児童虐待等、学習指導以外の学校・教師に課せられている課題にたいしていくための教育相談・カウンセリングの理論の基本的な理解と、必要な能力（方法）の土台の形成を行っていく。 教師だけで教育活動を行うことが困難な時代であるという認識のもと、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、医療機関等、他の発達援助職・機関との連携についても理解を深めるような学びを行っていく。			
到達目標	○いじめ、不登校など、教育相談に関わる教育課題、教育相談の歴史・理論についての理解を深める。 ○教師として必要なカウンセリング・子ども理解の思想と方法を模擬体験も通して理解・形成する。 ○学習活動の中で分析・討論・発表等の教師として必要な能力の形成を行う。			
テキスト	特に使用せず、資料を配付します。			
参考書				
評価方法・基準	評価方法	評価割合（％）	評価基準	
	試験	55%	成績評価は試験の結果が55%、授業の中で短時間のワークを行い、その結果と学んだことを小レポートとして3回提出（15%×3回）してもらい、その結果から判断します。	
	レポート	45%		
	小テスト			
	提出物			
その他				
履修上の留意事項	簡単な体験ワークや、学びを深めるためのアクティビティを実施する予定です。こうしたペア、グループでの活動に不安がある場合には、初回の授業までに教員に申し出てください。授業の達成目標と評価基準が変わらない範囲で、配慮できる可能性があります。			
実務経験を活かした教育内容				
学習の主題・授業内容	回数(担当)	項目	内容	
	1	学習の主題	教育相談とは何か	
		授業内容	教育相談の役割について概観します	
		事前・事後学習	教育相談の役割とは何か自分のイメージを考えて受講してください。／参考資料を購読してください。	
	2	学習の主題	子どもの心と発達	
		授業内容	子どもの心の発達、そしてその理解の方法の基礎について学びます	
		事前・事後学習	参考資料を読んでくること／次回の講義の課題に取り組むこと	
	3	学習の主題	聴き取ること～模擬カウンセリング～	
		授業内容	話を聴く、その効果と方法について体験的に学びます	
		事前・事後学習	参考資料に目を通して受講すること／振り返りレポートの作成	
	4	学習の主題	相談を受けるとは？	
		授業内容	相談を受けるとの専門性について学びます	
		事前・事後学習	参考資料に目を通して受講すること／参考資料を読むこと	
	5	学習の主題	いじめについて考える	
		授業内容	いじめ問題についてその概論を学ぶとともに、いじめに取り組む実践について学ぶ	
		事前・事後学習	講義の課題を読んでくること／振り返りレポートの作成	
	6	学習の主題	不登校について考える	
		授業内容	不登校についてその概論を学ぶとともに、不登校に取り組む実践について学ぶ	
		事前・事後学習	講義の課題を読んでくること／参考資料を読むこと	

	回数 (担当)	項目	内容
学習の主題・ 授業内容	7	学習の主題	特別支援教育について考える
		授業内容	特別支援教育の概要、主な発達障害について学びます
		事前・事後学習	講義の課題を読んでもらうこと／参考資料を読むこと
	8	学習の主題	特別支援教育の実践
		授業内容	実際に学習場面においてどのように支援ができるかを体験的に学びます
		事前・事後学習	講義の課題を読んでもらうこと／関連する資料を読むこと
	9	学習の主題	授業での学びを支援する
		授業内容	実際に学習場面の支援について分析し、実際的な方法について学びます
		事前・事後学習	参考資料を読んでもらうこと／振り返りレポートを書くこと
	10	学習の主題	担任としての教育相談
		授業内容	教育相談の機能から見た担任教員の役割について学ぶ
		事前・事後学習	参考資料を読んでもらうこと／関連する内容の論文を読むこと
	11	学習の主題	スクールカウンセラーの仕事とは
		授業内容	スクールカウンセラーの業務、教育相談との連携について学びます
		事前・事後学習	参考資料を読んでもらうこと／関連する内容の論文を読むこと
	12	学習の主題	児童虐待とスクール・ソーシャルワーク
		授業内容	児童虐待の現状、対応方法をソーシャルワークの役割を学ぶ
		事前・事後学習	参考資料を読んでもらうこと／関連する内容の論文を読むこと
	13	学習の主題	事例検討の方法
		授業内容	教育相談のための事例検討の方法について学びます
		事前・事後学習	参考資料を読んでもらうこと／関連する内容の論文を読むこと
14	学習の主題	やってみよう模擬事例検討	
	授業内容	模擬事例を用いて、事例検討の方法について学びます	
	事前・事後学習	参考資料を読んでもらうこと／関連する内容の論文を読むこと	
15	学習の主題	まとめ	
	授業内容	教育相談の意義とその役割について総括的に理解する	
	事前・事後学習	参考資料を読んでもらうこと／関連する内容の論文を読むこと	

授業科目	栄養教育実習事前・事後指導 Guidance for Nutrition Teaching Practicum		担当教員	所 伸一、百々瀬 いづみ
対象学科・年次・学期	栄養学科・4年次・通年		選択・必修	選択
授業形態	実習		単位数	1単位
授業目的	事前指導：栄養教諭の実習の意義や目的を理解し、実習に臨む基本姿勢の構築を図る。実習に関する報告書等の作成方法をはじめとし、実習効果を高める技術を体得させる。事後指導：実習報告書を作成し、課題ならびに成果を抽出してまとめる。実習報告会を行い、プレゼンテーションができる能力の養成を図る。			
到達目標	事前指導：栄養教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚した上で、意欲的に栄養教育実習に参加することができる。事後指導：栄養教育実習を通して得られた知識と経験を振り返り、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能、課題等を理解している。			
テキスト	適宜、資料等を配布する			
参考書	適宜、提示する			
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準	
	試験		目標の達成状況を下記の点から評価する。 ・提出物：指導案・レポート等の提出物 (30%) ・その他：模擬授業・実習成果報告等のプレゼンテーション (60%) 受講態度 (討論等への参加態度等) (10%)	
	レポート			
	小テスト			
	提出物	30%		
その他	70%			
履修上の留意事項	充実した栄養教育実習とするための事前学習・準備を周到に行って欲しい。実習後には、振り返りを十分に行い、栄養教諭としての資質向上を目指して積極的に取り組んで欲しい。			
実務経験を活かした教育内容				
学習の主題・授業内容	回数 (担当)	項目	内容	
	1	学習の主題	栄養教育実習オリエンテーション	
		授業内容	栄養教育実習の意義や目的、マナー、教育実習に必要な知識の確認・整理等	
		事前・事後学習	既習の関連科目の復習	
	2	学習の主題	学校現場の実態について	
		授業内容	学校現場の状況や実習に向けて取り組むべきことなど	
		事前・事後学習	実習に向けて学びたい事項 (質問事項) の整理	
	3	学習の主題	栄養教育実習に向けた模擬指導 (給食前指導) ガイダンス・準備 I	
		授業内容	指導テーマの検討・指導案作成	
		事前・事後学習	指導案作成方法の振り返り	
	4	学習の主題	給食前指導の準備 II	
		授業内容	教育教材の作成	
		事前・事後学習	教材作成準備・栄養教育の事前練習	
	5	学習の主題	模擬給食前指導と討論 I	
		授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認	
		事前・事後学習	栄養教育の事前練習	
	6	学習の主題	模擬給食前指導と討論 II	
		授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認	
		事前・事後学習	栄養教育の事前練習	
	7	学習の主題	討論 給食前指導の振り返り・研究授業 (45 分間食指導) ガイダンス・準備 I	
		授業内容	指導テーマの検討・指導案作成	
事前・事後学習		指導案作成方法の振り返り		

回数 (担当)	項目	内容	
		学習の主題	授業内容
8	学習の主題	研究授業の準備Ⅱ	
	授業内容	教材作成準備・栄養教育の事前練習	
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習	
9	学習の主題	模擬研究授業（45分間食指導）と討論Ⅰ	
	授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認	
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習	
10	学習の主題	模擬研究授業（45分間食指導）と討論Ⅱ	
	授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認	
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習	
11	学習の主題	栄養教育実習の振り返り、報告（報告書・発表会）準備	
	授業内容	教育実習の振り返り、履修カルテの記入、報告書・報告会準備	
	事前・事後学習	栄養教育実習の振り返り	
12	学習の主題	実習報告書作成Ⅰ	
	授業内容	実習記録（報告書）の作成	
	事前・事後学習	栄養教育実習の振り返り	
13	学習の主題	実習報告書作成Ⅱ	
	授業内容	実習記録（報告書）の作成（完成）	
	事前・事後学習	報告会からの学びと全体討論、課題の明確化	
14	学習の主題	実習成果報告会準備	
	授業内容	実習成果の発表に向けてプレゼンテーション資料の作成、発表準備	
	事前・事後学習	発表準備	
15	学習の主題	実習報告会	
	授業内容	栄養教育実習の成果を発表する。発表を参考に、自身の課題や課題解決の方向性についてまとめる	
	事前・事後学習	発表準備	

学習の主題・
授業内容

授業科目	栄養教育実習 Nutrition Teaching Practicum	担当教員	所 伸一、百々瀬 いづみ
対象学科・年次・学期	栄養学科・4年次・通年	選択・必修	選択
授業形態	実習	単位数	1単位
ねらい	栄養教諭として、児童・生徒の健やかな成長と長い生涯にわたる健康維持の基礎づくりのために、適正な食習慣ならびに自己管理ができるように、学校現場（小学校）において、実習を行う。講義や演習を通して学んだ知識や技術を基礎として、児童・生徒に対し給食を教材とした栄養教育・食育を実践する。		
実習目標	1) 児童との関わりを通して、児童の実態や課題を把握することができる。 2) 栄養教諭の心構えや態度を学修し、栄養教諭に求められる役割を理解する。 3) 学校給食管理の実際を把握し、生きた教材としての給食と食に関する指導の一体化について理解する。		
実習内容	・学校現場において、観察・参加・実習を通じて、学校教育（学校給食経営管理を含む）の実際を学ぶ。 ・給食時や教科・特別活動において、食に関する指導（指導案の作成、研究授業の実施など）を体験する。		
評価方法・基準	評価方法	評価割合（％）	評価基準 目標の達成状況を下記の点から評価する。 ・提出物：実習ノート・自主課題等の記録（40％） 実習報告書（30％） ・その他：実習施設指導者の評価（30％）
	試験		
	レポート		
	小テスト		
	提出物	70％	
	その他	30％	
履修上の留意事項	1. 本実習は、「栄養教育実習事前・事後指導」において、実習前に必要なオリエンテーションや事前準備等を行い、実習後に成果発表等を行う。 2. 教職関連科目で学修したことが基礎となるため、事前にしっかり振り返りしておくこと。		
実務経験を活かした教育内容			
実習方法	小学校で1週間（5日間：45時間）。 日程や具体的内容等は「栄養教育実習事前・事後指導」のオリエンテーションで説明する。		
実習施設	札幌市内の小学校（予定）		

授業科目	教職実践演習 Seminar on Teaching Practice		担当教員	所 伸一、百々瀬 いづみ
対象学科・年次・学期	栄養学科・4年次・後期		選択・必修	選択
授業形態	演習		単位数	2単位
授業目的	これまでの教職課程で学んだ理論と実践の有機的な統合を図るため、講義により学びを深めるほか事例研究（討論）、年間指導計画の立案や教材研究、栄養教育の実践等を行う。			
到達目標	教員としての使命感、責任感、社会性や対人関係能力について理解する。 栄養教諭としての指導力等について自ら確認し、課題探究とその解決策に向けて取り組む。			
テキスト	適宜、資料等の配布し、教科書等を貸与する			
参考書	適宜、提示する			
評価方法・基準	評価方法	評価割合 (%)	評価基準 目標の達成状況を下記の点から評価する。 ・提出物：指導案・レポート等の提出物（30%） ・その他：討議、演習、実践等への参加態度（30%）、プレゼンテーション（40%）	
	試験			
	レポート			
	小テスト			
	提出物	30%		
その他	70%			
履修上の留意事項	栄養教諭課程の総まとめの演習と心得、栄養教諭としての資質向上を目指して積極的に取り組んで欲しい。			
実務経験を活かした教育内容				
学習の主題・授業内容	回数 (担当)	項目	内容	
	1	学習の主題	ガイダンス（科目の趣旨・ねらい）	
		授業内容	討論「履修カルテ」を活用したこれまでの学修の振り返り	
		事前・事後学習	履修カルテの記入と記載内容の振り返り	
	2	学習の主題	討論 栄養教育実習からの事例研究	
		授業内容	教科指導の分析・グループ討論	
		事前・事後学習	栄養教育実習での学びの振り返り	
	3	学習の主題	発表・討論	
		授業内容	「第2回グループ討議」発表と全体討論	
		事前・事後学習	討論内容を踏まえて、気づき・学びの振り返り	
	4	学習の主題	討論 栄養教育実習からの事例研究	
		授業内容	生徒指導の分析・グループ討論	
		事前・事後学習	栄養教育実習での学びの振り返り	
	5	学習の主題	発表・討論	
		授業内容	「第4回グループ討議」発表と全体討論	
		事前・事後学習	討論内容を踏まえて、気づき・学びの振り返り	
	6	学習の主題	講義 学校現場の実際Ⅰ	
		授業内容	学校栄養教諭による地域連携の実際	
		事前・事後学習	講師から学びたい事項（質問事項）の整理	
	7	学習の主題	討論	
		授業内容	「第6回講義」からの学び	
		事前・事後学習	第6回講義での学びの振り返り	
	8	学習の主題	演習「年間指導計画」作成～立案に向けた情報収集・グループ討論	
		授業内容	グループ討論による年間指導計画の作成	
事前・事後学習		「年間指導計画」作成方法の振り返り		

回数 (担当)	項目	内容
9	学習の主題	演習「年間指導計画」立案（完成）と教材研究
	授業内容	グループ討論による年間指導計画の作成と教材作成
	事前・事後学習	「年間指導計画」と「教材作成」方法の振り返り
10	学習の主題	演習 教材作成（個人作業）
	授業内容	栄養教育（発表用）に必要な教材の作成
	事前・事後学習	「教材作成方法」の振り返り
11	学習の主題	演習 教材作成・発表（グループ内での発表・修正作業）
	授業内容	栄養教育（発表用）に必要な教材の作成と討論による修正
	事前・事後学習	「教材作成方法」の振り返り
12	学習の主題	演習 教材を活用した栄養教育の計画・指導案作成
	授業内容	作成した教材を活用した栄養教育計画と、指導案の作成
	事前・事後学習	栄養教育の手法と、指導案作成方法の振り返り
13	学習の主題	演習 教材を活用した栄養教育のグループ内発表
	授業内容	グループ討論による栄養教育内容の発表と修正
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習
14	学習の主題	演習 栄養教育の模擬発表（1 グループの発表）と全体討論
	授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習
15	学習の主題	演習 栄養教育の模擬発表（2 グループの発表）と全体討論
	授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習
16	学習の主題	演習 栄養教育の模擬発表（3 グループの発表）と全体討論
	授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習
17	学習の主題	討論 栄養教育の模擬発表の振り返り・改善案について
	授業内容	栄養教育の発表内容全体を振り返り・改善方法等について討論
	事前・事後学習	栄養教育内容の振り返り
18	学習の主題	演習 栄養教育の準備Ⅰ（教材の作成・変更等）
	授業内容	栄養教育の実践に向け教材の作成・変更・練習等
	事前・事後学習	栄養教育の実践に向けた準備
19	学習の主題	演習 栄養教育の準備Ⅱ（グループ内練習等）
	授業内容	グループ内での栄養教育の練習等
	事前・事後学習	栄養教育の実践に向けた準備
20	学習の主題	実践 児童会館等における栄養教育の実践（1 グループ）
	授業内容	1 グループは栄養教育の実践／他グループは発表の観察
	事前・事後学習	実践結果の振り返り
21	学習の主題	実践 児童会館等における栄養教育の実践（2 グループ）
	授業内容	2 グループは栄養教育の実践／他グループは発表の観察
	事前・事後学習	実践結果の振り返り
22	学習の主題	実践 児童会館等における栄養教育の実践（3 グループ）
	授業内容	3 グループは栄養教育の実践／他グループは発表の観察
	事前・事後学習	実践結果の振り返り
23	学習の主題	討論 栄養教育実践の評価・改善について
	授業内容	全グループの栄養教育実践結果の報告と改善点について討論
	事前・事後学習	実践結果の振り返り

学習の主題・
授業内容

回数 (担当)	項目	内容	
		学習の主題	授業内容
24	学習の主題	講義 「学校現場の実際Ⅱ（特別支援学校で栄養教諭の役割）」	
	授業内容	学校栄養教諭による特別支援学校における業務の実際	
	事前・事後学習	講師から学びたい事項（質問事項）の整理	
25	学習の主題	討論 「第 24 回の講義からの学び」	
	授業内容	「第 24 回の講義」からの学び	
	事前・事後学習	第 24 回講義での学びの振り返り	
26	学習の主題	演習 特別支援学校における栄養教育の計画・指導案作成	
	授業内容	グループ討論による指導計画、指導案の作成	
	事前・事後学習	「指導計画・指導案」作成方法の振り返り	
27	学習の主題	演習 特別支援学校における栄養教育のグループ内発表	
	授業内容	グループ討論による栄養教育内容の発表と修正	
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習	
28	学習の主題	演習 特別支援学校における栄養教育の模擬発表	
	授業内容	栄養教育内容の発表と全体討論での修正点の確認	
	事前・事後学習	栄養教育の事前練習	
29	学習の主題	討論 特別支援学校における栄養教育のあり方について	
	授業内容	現場の栄養教諭を交えて、栄養教育のあり方について討論する	
	事前・事後学習	第 24 回講義での学びの振り返り	
30	学習の主題	討論 「教職実践演習の振り返り」、履修カルテの記入・自己評価	
	授業内容	履修カルテを活用して、自己の学び（達成状況）や課題を振り返る	
	事前・事後学習	履修カルテの記入、自己評価	

学習の主題・
授業内容